

## 2010年度予算要望の主な項目

2010年2月5日

日本共産党県議団

### 1. 雇用・景気対策について

- ① 「雇用の改善なくして景気回復なし」の認識を明確にして取り組むこと。
- ② 今春卒業の就職未定者に対して「県の直接雇用」などの対策を講じること。
- ③ 国・市町村と連携し、「ワンストップサービス」の体制を恒常的に確立すること。公的シェルター実現のために県としての役割を果たすこと。
- ④ 「生活福祉資金」を活用しやすく改善すること。
- ⑤ 県営住宅のリフォームなど県有施設の工事の発注には、必ず地元中小企業優先を貫くこと。「公契約条令」の制定を検討すること。
- ⑥ 岡山県の最低賃金の改善へ県としても努力すること。

### 2. 歳入確保について

- ① 法人事業税の超過課税の検討に入ること。
- ② 使用料の徴収・負担増については県民と職員の合意の上で進めること。  
※学校などで「公用車扱い」となっている自家用車の扱いなど慎重に。

### 3. 「子ども手当」だけでなく、総合的な子育て支援策を講じること

- ① 「子どもの貧困化」の実態を総合的に把握し、対策を講じること。
- ② 子どもの医療費無料化の年齢拡大をすすめること。国の制度創設を求めること。
- ③ ひとり親家庭の医療費を元の定額負担にもどすこと。
- ④ 知事の選挙公約である少人数学級の拡充を急ぐこと。
- ⑤ 特別支援学級について、市町村教育委員会が必要と認めた場合は、児童生徒一人であっても、学級を設置すること。
- ⑥ 公立高校の無償化とともに私学も月納金無償化を実現すること。

### 4. 国の自立支援法見直しを機に、県制度も見直すこと

- ① 障害者の医療費は元の無料にもどすこと。
- ② 65歳以上の新規障害者も公費助成のこと。

### 5. 高齢者施策について

- ① 後期高齢者医療制度に関して、即時廃止を国に求めること。
- ② 国に保険料引き上げ中止の措置を求めるとともに、岡山県としては広域連合の「保険料剰余金」「財政安定化基金」などを活用することも含めて、

保険料の引き上げを中止すること。

- ③ 保険料滞納を理由に高齢者の保険証を取り上げるような事態を岡山県では起こさないこと。
- ④ 特養「待機者」解消に向けて計画の上方修正をすること。

## 6. 「ごみ処理広域化計画」について

「離脱・破綻」が顕著である「ごみ処理広域化計画」に関して、県として、「広域化計画」の抜本的な見直しを図ること。

## 7. 農業振興について

国の「戸別所得補償」について、県として農家の意見をよく聞き、「全国一律方式の是正」など改善方を国に求めること。

## 8. 林業振興について

林業を「地域経済対策」と「低炭素社会実現」の両側面から位置づけをし、県産材活用住宅への支援策の拡充、林道整備への補助など県施策の拡充を図ること。

## 9. 陳情一元化の中止などについて

民主党の「政府・与党一体化」論に基づく様々な「強権的やり方」の撤回を求めること。

## 10. 大谷川ダムについて

新見市の大谷川ダムは、地域の生活用水の確保に必要だと考えます。国の補助事業として進めるよう求めること。

以上